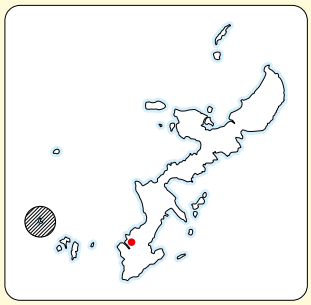
「わったー島がんじゅう会」

（沖縄県渡名喜村）





○活動のきっかけと現在の取組

本村は沖縄本島南部の離島で高齢化が急速に進行している。このため、平成13年度に高齢者の生きがいづくりや、生涯を通じた学習機会の確保、世代間交流による後継者づくりを目的にグループを結成した。

現在は、基幹作物であるもちきびや島人参の生産と栽培技術継承とともに島内における野菜の生産と供給に向けて取り組んでいる。

○地域農業又は地域社会への貢献

生涯現役を目指して高齢者の能力や技術を活用できる体制が整備されたため、地場野菜の安定供給やグループ活動を通して地域活性化が図られている。

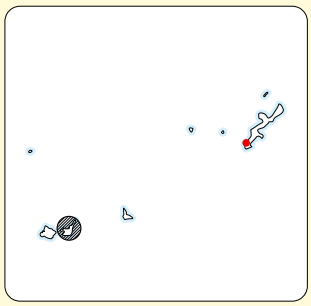
○若い世代との役割分担

小中学校で必要な花の苗を提供したり、島内の環境整備を担当するとともに農作業を通した世代間の交流を図ることとしている。

「北部農産同好会」

（沖縄県石垣市）





○活動のきっかけと現在の取組

平成12年度に都市との交流による地域活性化を目的に結成した。

現在は、高齢者の生産技術を活かした農産物を販売するため、毎週日曜日に直売市「ひらくぼ活き生き市」を開催している。

また、ジーマーミー（落花生）豆腐など子供から高齢者まで人気が高い伝承料理講習会も併せて開催している。

○地域農業又は地域社会への貢献

高齢者の自家菜園から出発した「ひらくぼ活き生き市」は、地域農産物の生産振興に貢献し、地域農業を活気づけている。

また、地場野菜を利用した伝承料理講習会は、都市の親子、若者に人気で都市住民との交流を促進し、地域社会を活性化させている。

○若い世代との役割分担

平久保老人会と北部農産同好会が提携し、集落の美化活動に取り組み、年間を通した活動をしている。また、地域の伝統芸能や年間行事の開催にあたっても、常に指導的な立場で若年層をリードし、調和の取れた世代間交流は特筆すべき物がある。